

安全データシート

Safety Data Sheet

1. 製品名及び会社情報

製品名 : 白馬 目からウロコのクリーナー
 会社名 : 株式会社 万立
 住所 : 大阪府柏原市片山町 13-59
 担当部門 : 技術
 電話番号 : 072-977-0898
 F A X 番号 : 072-977-0899
 推奨用途及び使用上の制限 : ガラス・ステンレスの水垢や鱗状痕の除去

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分5

急性毒性（経皮） : 区分5

急性毒性（蒸気） : 区分4

皮膚腐食性・刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分3

水生環境慢性有害性 : 区分3

上記、記載のない危険有害性については、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :

感嘆符

健康有害性



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害の恐れ
 皮膚に接触すると有害の恐れ
 軽度の皮膚刺激
 強い眼刺激
 吸引すると有害
 水生生物に有毒

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書・SDSを入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 取扱後は、手をよく洗うこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急処置】

- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。早めに水で洗い流す。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合 : 医師の診断／手当を受けること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合 : 医師の診断／手当を受けること。
- 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断／手当を受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を法令に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 成分及び含有量 : 有機酸混合、無機酸混合、植物エキス、界面活性剤、無機酸混合水
- 危険有害性成分 : 国連分類および国連番号 国連の定義上危険物に該当しない

4. 応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
できるだけ早く医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。汚染された衣類を取り除くこと。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、被爆者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐物は飲み込ませない。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 応急処置をする者の保護 : 適切な呼吸具を着用すること。応急処置の際、換気を行う。
応急処置の際、救助者は自分の皮膚に触れたり、目に入らぬよう注意する。

5. 火災時の措置

- 使用可能消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 火災時の措置方法 : 消化方法適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
移動可能な可燃性のものを周囲から、素早く安全な場所に取り除く。
火災発生場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。
火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使って消火する。
消火活動か風上より行う。
高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。

6. 漏出時の措置

- 除去方法 : 少量の場合 : ウェス状のものできれいに拭き取り、水拭きをする。
多量の場合 : 多量の水で中和を行い排水処理基準にて流水する。
- 人体に対する注意事項 : 作業の際には、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。
大量の流出には盛土で囲って流出を防止。
付着物、廃棄物等は、関連法規に基づいて処置をする。
- 保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺に適切な距離を置きロープを張るなどして、漏洩区域として隔離する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

7. 取扱、保管上の注意

- 取扱い上の注意 : 使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。
換気のよい場所で取り扱う。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
容器はその都度密閉する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
取り扱い後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
取り扱いは、換気のよい場所で行い、漏洩、あふれ、飛散しないように注意し、
みだりに蒸気を発生させない。

保管上の注意

: 火気、熱源から遠ざけて保管する。日光の直射を避ける。通気の良い所に保管する。

8. 暴露防止及び保護処置

許容濃度・許容濃度

: 製品としては設定されていない。

設備対策

: 取り扱い場所付近に安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

防止対策

呼吸用保護具

: 通常の手洗いにおいては必要としない。

保護眼鏡

: 側板付き保護眼鏡を着用する。

保護手袋

: ゴム手袋を着用する

保護衣

: 長靴等を着用する。

衛生対策

: 接触を避け、取り扱い後は手を洗うこと。保護具は定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

性状

: 液体

外観

: 淡黄色液体でわずかに特異な臭いを有する

色相

: 淡黄色

性状

: 酸性

主成分

: 成分表を参照

臭気

: 微かに特異な臭気

P H 値

: 1.2 以下

比重

: 1.08 ± 0.02

融点/凝固点

: 情報を有していない。

溶解度

: 水に対する溶解性 : 容易

分解温度

: 情報を有していない。

金属腐食性

: 金属腐食性あり

10. 安定性及び反応性

反応性・安全性情報

引火点

: 該当せず (不燃物)

発火点

: なし

爆発範囲

: なし

可燃性

: なし

酸化性

: 酸性で接触により組織を破壊する恐れがある。

自然反応性・爆発性

: 容器が破損し、高温で蒸発した場合、塩素ガスを発生する。

粉塵爆発性

: なし

安全性・反応性

: 通常の手洗い条件においては安定。

化学的安定性

: 通常条件下の取り扱いでは安定である。

11. 有害性情報

皮膚腐食性

: 腐食性液体に該当しない。

刺激性

: 刺激性がある。

感作性

: データなし

急性毒性

: データなし

慢性毒性

: データなし

ガン原性

: データなし

変異原性 (微生物染色体異常)

: データなし

- | | |
|-------------------|---|
| 生殖毒性 | : データなし |
| その他 | : 水との接触で有害なガスを発生しない。危険情報は有していない |
| 12. 環境影響情報 | |
| BOD | : 4mg/L 以下 |
| COD | : 4mg/L 以下（排水基準に従って試験。水溶液にて計測） |
| 許容濃度 | : 魚毒性 2.8ppm（ヒメダカ48H-TL9） pH値 1±0.1 |
| 13. 廃棄上の注意 | |
| | : 一般ゴミとして廃棄する場合は都道府県の条例による。
希釈処理をするか、中和剤（アルカリ性）で処理した後排水をする。 |
| 14. 輸送上の注意 | |
| 共通事項 | : 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を
確実に行うこと。取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。 |
| 陸上輸送 | : 記載なし。 |
| 海上輸送 | : 記載なし。 |
| 航空輸送 | : 記載なし。 |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国連分類 | : 非該当 |
| 指針番号 | : 非該当 |
| 15. 適用法令 | |
| | : 以下のいずれの法律にも規制されない
労働安全衛生法、消防法、毒物・劇物取締法、船舶安全法、航空法
PART法に指定されている第1種、第2種化学物質は使用していない |
| 16. その他の情報 | |
| 問い合わせ先 | |
| 会社名 | : 株式会社 万立 |
| 住所 | : 大阪府柏原市片山町13-59 |
| 担当 | : 技術 |
| 電話番号 | : 072-977-0898 |
| FAX番号 | : 072-977-0899 |
| 緊急連絡先 | : |
| 引用文献 | : |

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱業者
に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。

取扱業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、
使用されるようお願いいたします。